

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	産学一致の勧め (Encouragement to Study from Perspective of Industrial World)		
ナンバリングコード	A20205 B20302	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎(教育)科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A031904	クラス名	-
担当教員名	吉村 充功、島岡 成治、池畑 義人、中西 章敦、小久保 雄介		
履修上の注意、 履修条件	○本学の建学の精神である「産学一致」を理解する重要な科目です。真剣に受講して下さい。 ○本授業はメディア授業です。動画をあらかじめ収録して時間割上の正規の時間に配信する回(オンデマンド型)と、対面とMeet配信・オンデマンドを併用する回(ハイフレックス型)があります。 ○次回授業の正規開始時刻までに全ての動画視聴と提出物提出を持って「出席」になります。 ○遅刻・公欠の取り扱いは原則ありません(長期欠席などの場合は別途対応)。 ○ハイフレックス型の回について、指定する1回以上の対面出席を必須とします。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	菅幸雄『温故知新』大分合同新聞文化センター、1991年		
関連科目	人間力概論、社会参画授業、ジェネリックスキル養成1・2、商品開発学(工経のみ)、起業学(工経のみ)、就職講座(工経のみ)、就職活動実践講座(工経のみ)ほか		

○基本情報		
授業の目的	本科目は本学の建学の精神であり、教育理念の1つでもある『産学一致』を象徴する科目として、その意味を正しく理解し、自らがその理念で求められている姿勢や考え方を実践できるようになることを目的とし、DPで規定する修得能力の大前提となる科目です。現代社会は、急激な少子高齢化、グローバル化、Society 5.0社会の到来など、これまでの日本が直面したことのない状況にさらされています。このような状況を乗り切るためには、これからの社会を支える若者一人ひとりが、現代社会の変化に柔軟に対応し、自ら進んで局面を開拓できる力を養うことが必要です。本科目では、本学の教育方針や成り立ちをあらためて理解するとともに、大学と産業界、社会、地域を切れ目なくつなぐことを意識しながら、学生の皆さんが良き社会人、市民として活躍するためのキッカケをつかむことを目的とします。なお、教員による授業では、社会の情勢等をデータに基づき説明する機会が多くあり、本科目はデータサイエンス関連の基礎科目としても重要です。	
授業の概要	本学では、『産学一致』の精神に基づく人材育成の方針として、「時代の変化を捉え、柔軟な発想で、課題解決のできる人材を育成する」ことを掲げています。これらの基本的な理解、考え方を修得するため、本科目では、自校教育、自校愛の目覚め、大学教育史と現代の高等教育に求められていることなどを最初の数回の授業内容として展開し、その後、日本の産業構造、九州・大分の産業の特徴と現代の若者に求められている能力を社会の変化と関連づけて理解できるように授業内容を展開します。また、産業界・大分の経済界等の第一線で活躍する企業経営者などをお招きし、産業界や社会の目線から若者に求めていることを率直に講演いただく機会も設けます。より良い学修環境を提供するため、できる限りアクティブラーニングの形式で授業を展開します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	中西章敦（行政機関での実務）：県庁における技術系職員としての実務経験があり、県内地域の特徴等について明るい。本授業では、その経験を活かした地域の特徴等について教授します。 ゲストスピーカーとして、県内企業・NPO・医療機関等の経営者・代表者、シンクタンク等の担当者から現場経験や社会情勢を踏まえた講話を行います（計7回予定）。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①母校の成り立ちを正しく理解し、母校に誇りを持てるようになる。		10点	
【知識・理解】	②大学の建学の精神、教育理念、産業界の構造について正しく理解できている。		10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	③大分や九州を取り巻く産業界の現状を踏まえ、自分たちに求められている能力や使命、自分たちを取り巻く問題に対する考えを自分事として表現することができる。		30点	
【思考・判断・創造】	④大分や九州を取り巻く産業界の現状を踏まえ、自分たちに求められている能力や使命を適切に判断でき、自分たちを取り巻く問題に対し主体的に考えることができる。		50点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

○毎回課すレポート等(5点×14回=70点)、最終課題(15点×2課題=30点)で評価。

○レポートの達成水準の目安は 期限内に提出、キーワードが適切、出題内容に沿った内容で記述、レポート全体がきちんとした文章として書けている等です。他人のレポートを写している(写させている)場合や生成AIをそのまま利用した場合は0点となります。

○最終課題はルーブリックによる評価とします(観点として、「本学の使命・沿革と社会動向」「地域産業の特徴や位置づけ」等を上記到達目標の観点に照らし設定しますが、詳細は課題発表時に提示します)。

○課題のフィードバックは、次回以降の授業内またはClassroom上で行います。

○その他

○すべての配信物は本科目のGoogle Classroomから行います。

○受講に関する注意事項

1. 本授業は、学内教員が講義をする回は動画をあらかじめ収録して時間割上の正規の時間に配信するオンデマンド型です。ゲストスピーカーの回は時間割上の正規の時間に教室(対面)で行い、Meetで同時配信(ライブ授業)しますが、この場合も録画をオンデマンド配信します(ハイフレックス型)。ハイフレックス型の回について、指定する1回以上の対面出席を必須とします。
2. 受講は翌週の授業の正規開始時刻までに以下のすべてを完了することで「出席」となります。
 - (1)「出席確認」への回答(Googleフォームから)
 - (2)「授業動画」の視聴(複数本の投稿の場合あり)
 - (3)その他アンケートなどへの回答(ある場合。Classroomの質問機能やGoogleフォーム等から)
 - (4)「課題」の提出(Googleフォームから) ※手書きでの提出はできません※締切時刻はGoogleサーバ内の時刻になります。余裕を持って提出すること。
3. 遅刻・公欠の取り扱いは原則ありません(長期欠席などの場合は別途対応)。
4. 正規の授業時間内はClassroomの「出席確認」の「限定公開のコメント」欄を通じて、リアルタイムで学生からの質問に回答します(それ以外の時間は回答にタイムラグが生じます)。
5. 限定公開ではなく「クラスのコメント」欄に記入すると受講生全員に内容が開示されますので注意してください。

○メディア授業

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	産学一致の勧め（Encouragement to Study from Perspective 吉村 充功、島岡 成治、池畑 義人、中西 章敦、小久保 雄介	授業コード	A031904
学修内容				
1. ガイダンス 本学の建学の精神と教育理念をあらためて説明し、皆さんの現状と意識調査をしながら、本講義で何を学ぶのかを説明します。				
予習 本学の建学の精神、教育理念について、まとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、国内外の産業界や経済界の動向について、まとめて下さい。（約3.0h）				
2. NBUの沿革・使命 日本文理大学の沿革やそれと関係する大分の歴史を説明し、皆さんが学んでいる本学の存在意義や使命を考えます。				
予習 本学の沿革について、まとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、本授業から学んだことをまとめて下さい。（約3.0h）				
3. NBUと地域社会（自校教育） なぜいま高等教育が求められるのか、地域における大学の存在意義、本学が取り組んでいるCOC（Center Of Community：地(知)の拠点）活動と本科目の関係性について説明します。				
予習 本学のCOC活動の事例について調べ、概要をまとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、本授業から学んだことをまとめて下さい。（約3.0h）				
4. 外部講師による講演①（大分青年会議所（JC）－青年指導者からのメッセージ） 地域の青年リーダーの集まりである「大分青年会議所」の理事長他、メンバーの方々から青年会議所の取組を紹介いただくとともに、今の若者に何が求められているのかを具体例を交えながらご講演いただきます。				
予習 青年会議所とは何か。どのような活動をしているか。概要をまとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、本授業から学んだことをまとめて下さい。（約3.0h）				
5. 産業とその分類とは？ 『産学一致』の建学の精神が示す通り、本学にとって産業界を正しく理解することは学業の意味を理解する上でも重要です。日本の産業分類をおさらいし、日本の産業の特徴を説明します。				
予習 産業分類とは何か。概要をまとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、本授業から学んだことをまとめて下さい。（約3.0h）				
6. 九州の産業構造（外部講師による講演の予定） 九州の産業構造、特徴について説明します。				
予習 九州を代表する産業について調べ、その特徴をまとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、本授業から学んだことをまとめて下さい。（約3.0h）				
7. 九州の産業界が若者に求めること 九州の産業界、企業が現代の大学生、若者に何を求めているのか、新入社員をどのような視点で育成しているのかを実際の調査結果をもとに説明します。				
予習 あなたが興味を持った九州内の企業について調べ、その特徴をまとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、本授業から学んだことをまとめて下さい。（約3.0h）				
8. 大分の産業の現状 大分県内の産業、企業等の状況についてその特徴を説明します。				
予習 大分の産業界の特徴について、まとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、本授業から学んだことをまとめて下さい。（約3.0h）				

○授業計画	科 目 名 担当教員	産学一致の勧め（Encouragement to Study from Perspective 吉村 充功、島岡 成治、池畑 義人、中西 章敦、小久保 雄介	授業コード	A031904
学修内容				
9. 外部講師による講演②（県内医療機関） 現代社会では多くの社会課題に直面しており、これまでの産業分野、業界で閉じた法人活動では社会に対する責任が果たせないケースも増えてきています。医療機関についても同様で、医療の現場だけでなく、地域、社会に積極的に貢献していく姿勢が求められます。社会医療法人 関愛会では、病院や高齢者介護施設の運営だけでなく、地域での活動を積極的に展開されています。活動内容や理念、地域や若者に対する思いなど、率直に語っていただきます。				
予習 中小企業家同友会とは何か。また、講義予定企業について、概要をまとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、本授業から学んだことをまとめて下さい。（約3.0h）				
10. 外部講師による講演③（大分県中小企業家同友会1） 大分県内の企業経営者らで組織する「大分県中小企業家同友会」の加盟企業による講演です。企業現場の実際、大分の産業の状況、現代の若者に求めることを企業目線から率直に語っていただきます。				
予習 講義予定法人について、概要をまとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、本授業から学んだことをまとめて下さい。（約3.0h）				
11. 外部講師による講演④（大分県中小企業家同友会2） 大分県内の企業経営者らで組織する「大分県中小企業家同友会」の加盟企業による講演です。企業現場の実際、大分の産業の状況、現代の若者に求めることを企業目線から率直に語っていただきます。				
予習 講義予定企業について、概要をまとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、本授業から学んだことをまとめて下さい。（約3.0h）				
12. 外部講師による講演⑤（大分県中小企業家同友会3） 大分県内の企業経営者らで組織する「大分県中小企業家同友会」の加盟企業による講演です。企業現場の実際、大分の産業の状況、現代の若者に求めることを企業目線から率直に語っていただきます。				
予習 講義予定企業について、概要をまとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、本授業から学んだことをまとめて下さい。（約3.0h）				
13. 外部講師による講演⑥（県内NPO法人） 現代社会では社会人としてただ働くだけでは十分ではなく、地域、社会に貢献していく姿勢が求められます。大分県内には多くのNPO法人（特定非営利活動法人）がまちづくり、福祉、文化、環境などの分野で積極的に活動しています。県内で活動するNPO法人の関係者から活動状況、地域の実際、現代の若者だからこそできることを地域の目線から率直に語っていただきます。				
予習 NPO団体とは何か。また、講義予定NPOについて、概要をまとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、本授業から学んだことをまとめて下さい。（約3.0h）				
14. 産学連携による商品開発 世の中に発売された商品のうち、ヒット商品といわれるものはごくわずかです。ヒットする商品を生み出すにはその開発プロセスも大切です。ここではその開発手順の概略を説明するとともに、産学連携で実際に携わった商品開発の事例を紹介します。				
予習 興味のある商品について、その開発の過程を調べて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させるとともに、本授業から学んだことをまとめて下さい。（約3.0h）				
15. 講義総括 これまでの講義をふり返り、「自校教育と地域貢献の関連性」、「九州の産業と将来への展望」を考えます。必要に応じて、産業界の方々との座談会を開催し、「産学一致」や「産業界を通じた地域の未来」について理解を深めます。				
予習 あなたは将来どのような仕事や働き方をしたいと考えているか、どんな地域で働きたいかまとめて下さい。（約1.0h）				
復習 課題（Googleフォーム）を完成させて下さい。また、自校教育、大分の産業界に関するレポートを課します。（約3.0h）				
16.				
予習				
復習				